

平成27年度公共用水域への排出量算出結果

(TCは浄化センターの略)

	那覇TC	宜野湾TC	具志川TC	西原TC	
単位	kg/年	kg/年	kg/年	kg/年	
1	亜鉛の水溶性化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
2	EPN	0.0	0.0	0.0	0.0
3	カドミウム及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
4	クロム及び三価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
5	六価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
6	シマジン	0.0	0.0	0.0	0.0
7	無機シアン化合物 (錯塩及びシアン酸塩を除く。)	0.0	0.0	0.0	0.0
8	チオベンカルブ	0.0	0.0	0.0	0.0
9	四塩化炭素	0.0	0.0	0.0	0.0
10	1,4-ジオキサン	0.0	0.0	0.0	0.0
11	1,2-ジクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0
12	塩化ビニリデン(1,1-ジクロロエチレン)	0.0	0.0	0.0	0.0
13	cis-1,2-ジクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0
14	D-D(1,3-ジクロロプロペン)	0.0	0.0	0.0	0.0
15	塩化メチレン(ジクロロメタン)	0.0	0.0	0.0	0.0
16	水銀及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
17	セレン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
18	テトラクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0
19	チウラム	0.0	0.0	0.0	0.0
20	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	0.0	0.0	0.0	6.8
21	1,1,1-トリクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0
22	1,1,2-トリクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0
23	トリクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0
24	鉛及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
25	砒素及びその無機化合物	0.0	0.0	0.0	0.0
26	ふっ化水素及びその水溶性塩	0.0	0.0	0.0	0.0
27	ベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0
28	ほう素及びその化合物	7,400	2,000	0.0	140
29	PCB	0.0	0.0	0.0	0.0
30	マンガン及びその化合物	620	67	110	47

	単位	mg-TEQ/年	mg-TEQ/年	mg-TEQ/年	mg-TEQ/年
※	ダイオキシン類	0.14	0.053	0.014	0.0054

- 20 銅濃度は0mg/L～0.003mg/Lであり、公共用水域へ放流しても問題の無い水質です
- 28 ほう素濃度は0mg/L～0.2mg/Lであり、公共用水域へ放流しても問題の無い水質です
- 30 マンガン濃度は0.003mg/L～0.02mg/Lであり、公共用水域へ放流しても問題の無い水質です
- ※ ダイオキシン類の濃度は0.00042pg-TEQ/L～0.0035pg-TEQ/Lであり、公共用水域へ放流しても問題の無い水質です